

協定留学近況報告書

| | |
|--------------------------|---|
| 記 入 日 | 2019年 10月 31日 |
| 留 学 先 大 学 | マラヤ大学 |
| 留 学 先 での 所 属 学 部 等 | <input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): _____, (現地言語での名称): _____ <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他: _____ |
| 留 学 期 間 | 2019年9月ー2020年2月 |
| 明 治 大 学 での 所 属 | 国際日本学部国際日本学科 _____ 専攻 / _____ 研究科 _____ 専攻 |
| 学 年 (出 発 時 本 学 での 学 年) | 学部2年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 _____ 年生 |

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

マラヤ大学に2年前に留学していた先輩1名、マレーシアの他大学に留学していた先輩が2名いらっしゃり、LINEでビザ申請などの相談に乗っていただけていました。先輩方には2018年度夏季集中講座「東南アジア理解講座」で知り合いました。留学先決定前から相談に乗っていただけており、マレーシアの渡航後も連絡を取らせていただけています。前学期にマラヤ大学に留学されていた先輩もいたようでしたが、なかなか連絡先をいただくところまで自分の余裕がなく、お話を聞かせていただくことはできませんでした。

明治大学にはインターンシップや大学で授業を受ける協定留学など、多くの留学プログラムがありますが、私は東南アジアについて授業を通して学びたかったので協定留学を選びました。協定校のリストが10月頃から徐々に発表されていったので、協定校として発表されるたびにその大学のHPでどんな授業がとれるのか調べて自分に合った大学を探していきました。

奨学金の選考は成績が高ければ高いほど利用できるものが増えます。大学まで成績をとるための受講になってしまうのはいかなものかと思いますが、最低でも3.2以上は1年の春学期から取っておくと留学を考えたときにとても有利に働くと思います。

学部や明治大学への申請は大きなトラブルなく終わりましたが、事前の提出書類がかなり多く、そのために留学のための勉強に手が付けられなくてもどかしい思いをすることもありました。留学を考える時点で、事務手続きの複雑さを理由に諦めてしまう友人もたくさんいました。今後手続きの簡略化が行われることを切に願います。Visaの申請やマラヤ大学への留学手続きは余裕をもって行っていました。トラブルが立て続けに起き、予想していた以上に渡航前がバタバタしていました。手続き系を余裕をもって行うことはいつでも念頭に置いておいてください。

Typeの授業は取れるだけ履修していると留学中につらい思いをせずに済むと思います。特に師井先生のtype授業は留学生がとても多く、マラヤ大学の3年以上開講の授業と同じくらいのレベルなのでおすすめです。

II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ)

| | |
|--|---|
| ビザの種類: シングルエントリービザ(渡航前) スチューデントパス(渡航後) | 申請先: EMGS(Education Malaysia Global Services) |
| ビザ取得所要日数: シングル・2か月(トラブルの影響) (申請してから何日/週間要したか) | ビザ取得費用: 2万1786円 |

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか? また、どのように手配しましたか?

オンライン

健康診断結果表(キャンパスの診療所に必要な内容を相談) 英語テスト結果(TOEFL など) Offer Letter(入学許可証。留学先大学から送られてくる) パスポート全ページスキャンデータ

大使館提出

パスポート原本、パスポート顔写真のコピー1部、証明写真 3.5×5.0 2枚、航空券(e-ticket)1部、申請書類(HPにあります。両面コピー。大使館でも書けます。)2部、オファーレター?、eVal書類1部?2部?

| |
|--|
| 具体的な申し込み手順を教えてください。 |
| 大学からオファーレター取得→オンライン申請→eVAL(visa approval letter)取得→マレーシア大使館で申請→シングルエントリー-visa 取得→渡航 |
| ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？ |
| なし |
| ビザ取得に関して困った点・注意点 |
| <p>オンライン申請フォームは入力するデータがかなり多く、確認画面で入力ミスや漏れに気づいて修正をかけようとするとなぜか打ち込んだデータがすべて消えていて最初からやり直しになりました。結局ネットワークエラーなども重なり、4回やり直しました。ただ、マラヤ大学からフォームに関しては丁寧なガイドがPDF で送られてきていて、分かりやすくて助かりました。ホームページにも必要書類の様式等の記載がありました。</p> <p>Visa 申請時に保険を申し込むか選べ、日本の海外保険に入っていたのとマラヤ大学から加入必須連絡は来ていなかったの加入しなかったのですが、そこで買わなくても大学で買うことになりました。</p> <p>EMGS に visa 費用としてクレジットカード情報を入力し、支払いを行ったのですが、同じ様に手続きを行った数人の日本人学生がクレジットカード不正利用の被害にあっており、EMGS が原因であると思われています。過去にも同様の被害が報告されているようで、在マレーシア日本大使館にも取り合ってもらえていないので気を付けようにもありませんが、日常的に使いたいカードや利用限度が高い親のカードなどは利用しないほうが良いと思います。</p> <p>オンライン申請後に「パスポートの残存期間が 1 年しかないので更新を薦める」とのメールが届きました。「私の留学予定期間は半年で、VISA 申請も半年間で申請しているので問題ないはず。更新を『薦める』ということは更新は義務ではないという解釈で良いか」という内容のメールを返信したところ、「更新を薦める」と同じ内容のメールが返ってきました。帰国後に 10 年のパスポートの更新をしたかったのですが、仕方ないので明治の留学相談ブースと話し合いの上、大事をとってその時点でパスポートの更新をすることにしました。パスポートの更新をしたその日にまた EMGS からメールが届き「やはりパスポートの更新は必要ありませんでした。もう更新してしまいましたか？」との連絡が届きました。</p> <p>パスポート番号の変更をマラヤ大学にもお願いすることになったのですが、私からのメールには一向にレスポンスがなく、ずっと明治の国際教育事務室に連絡を取っていただいていたのでした。</p> <p>マレーシア大使館は書類提出と受け取りの時間が細かく決まっていて、受け取りに関しては平日の一時間しか受け付けていませんでした。大使館の HP では必要書類の情報も開館時間の情報も見つけられなかったので、ネットで必要になる可能性のある書類を調べ、すべて 2 部ずつ程度コピーして大使館に行きました。大使館に行く前にメールを送ると、必要書類のリストと申請書類の PDF を送ってもらえるようなので、必ず連絡をしたほうが良いです。</p> <p>必要書類はよく変わるので、提出する可能性のある書類を多めに持っていくと対応できると思います。証明写真はバックグラウンドやサイズの指定がほかのものと違うので気を付ける必要があります。一度の訪問で何事もなく申請が終わるとは期待しないほうが良いです。</p> |

II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

「Grab」はマレーシアで広く使われている配車アプリです。「WhatsApp」は日本でいうLINEです。バディとの連絡はこれを通じて行います。この二つのアプリは渡航前に入れられるのであれば入れておいたほうが必要になったときに慌てずに済みま

す。
英語でのプレゼンテーション、エッセイの書き方は明治でしっかり勉強していったほうが良いです。論点がずれていたり、内容のないエッセイを書くと教授や学生に突っ込まれます。

私の入居する「International House」へは日本からも荷物を送ることができます。事務所あてに送ると受け取っておいてもらえます。

予防接種は打ち切るのに半年かかるものもあるので、留学を考え始めたら早めに病院に相談に行ったほうが良いと思います。おすすめは早稲田にある国際医療センター内のトラベルクリニックです。渡航前、渡航後の健康相談に親身に乗ってください。

現地での現金調達は主にATMでVISAデビットで現地通貨をおろしています。ATMはどこにでもあります。私の場合手数料は一回当たり110円です。クアラルンプールではマスターカードも使えますが、VISAが一番どこでも使えます。デビットカードは日本で作っていくと便利です。クレジットカードの悪用はとて多いので、カードは緊急用でプラス2枚程度あると安心だと思います。

パスポートサイズの証明写真はオリエンテーションの時点で最低でも5枚以上必要になります。バックグラウンドは青だったり白だったりするのでその都度指定を確認してください。今年度オリエンテーションで使った証明写真はブルーバックグラウンドでした。モールの写真屋さんに行けば証明写真は安くすぐに取りれますが、渡航直後はバタバタしていて不安になると思います。オフアールターやe-flight ticket、e-valなど書類系は3枚程度コピーを持っていくといいです。空港で提出するものもあります。

渡航2週間前くらいにマラヤ大学のバディチームからメールで小冊子のPDFが送られてきます。そこにマレーシアやマラヤ大学についての情報、マレーシアでのライフハック、渡航後の予定、健康診断についてなどかなりたくさん重要な情報が載っているので、渡航前にきちんと読んでおいたほうが良いです。



Ⅲ. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

| | | | | | |
|-------------|---|-------------------------------------|---|--|------------------------------|
| 利用航空会社 | マレーシア航空 | | | | |
| 航空券手配方法 | 格安航空券販売サイト skyticket ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入して下さい。 | | | | |
| 大学最寄空港名 | クアラルンプール国際空港 | 現地到着時刻 | 15 時頃 | | |
| キャンパスへの移動手段 | <input type="checkbox"/> 大学手配の 出迎え | <input type="checkbox"/> 知人の 出迎え | <input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車) | <input checked="" type="checkbox"/> タクシー (Grab) | <input type="checkbox"/> その他 |
| 移動の所要時間 | 渋滞なしで 1 時間程度。渋滞ありで 2 時間。 | | | | |

空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等

平日の夕方や朝の通勤ラッシュ帯の市内はとても混みますが、空港から大学行きであればそれほど問題ないと思います。電車でも市内へは向かえますが、市内中心部のターミナル駅は外に出るのが難しいようなのであまりお勧めしません。

大学の空港ピックアップはあります。出発一週間前にどの時間帯のピックアップに乗るかのフォームがメールで送られてきます。時間は 1 日 3 回(9 時・14 時・19 時)、期間は 2 日間のみ(8 月 26 日 27 日)でした。夜の時間帯のピックアップはあまりお勧めしません。ピックアップ自体が 2 時間程度出発が遅くなることがよくあるのと、空港でピックアップを見つけられなかったときに夜の時間帯だと不安だと思います(2 年上の先輩より)。

Grab は空港から市内まで大体 60RM(約 1500 円)です。ピックアップポイントと行き先をアプリで指定するだけなので簡単かつ、料金も乗車前に指定されるのでぼったかれる心配もありません。ドライバーは英語を喋れる方が多いです。

| | |
|-------|---------------------|
| 大学到着日 | 8 月 26 日 18 時頃(寮到着) |
|-------|---------------------|

2. 住居について

| | | |
|-----------------------|---|---|
| 到着後すぐに住居 入居できましたか？ | <input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ | いいえを選んだ方： 月 日から入居可能だった。 |
| 住居のタイプ | <input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input checked="" type="checkbox"/> その他(オフキャンパスの寮) | |
| 部屋の種類 | <input type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> その他(4 人 1 ユニット、寝室 2 人部屋) | |
| ルームメイト | <input type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他() | |
| 住居を探した方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input checked="" type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他() | |
| 住居の申込み手順 | 寮に直接メール(6 月中)→waiting list に入れてもらう→必要書類をメールで送信(7 月末)→入寮手続き(デポジットの支払いなど)(入寮前) | |

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？

私が入寮したのは、留学生の多くが入るオンキャンパスの寮ではなく、オフキャンパスの寮「International House」を選びました。オンキャンパスの寮の設備がかなり住みにくいという情報を得ていたのと、金額がさほど変わらずにシャワートイレ LDK が付くのが理由です。オンキャンパスは留学生同士でわいわいできて楽しいようですが、体力がないのと自分の時間も大切にしたい人間なのでこちらを選んでよかったと思っています。マラヤ大学の寮なので、スクールバスが通っています。

International House はマラヤ大学の HP の「accommodation」のページのオフキャンパス寮リストに載っているものの一つです。入寮申請はオファーレターを大学から受け取ったら、遅くとも 6 月中にしないと満室になってしまいます。マラヤ大学の HP に載っているメールアドレスに「入寮したいのですが」とメールを送ると、必要書類のリストや申請書類のフォームを送ってくれます。オフィスもあり、レスポンスも早いので大きなトラブルはありませんでしたが、入寮前の支払い明細兼入寮許可書がメールで届いておらず、寮到着後に少しごたつきました。

オフキャンパスのマンションを借りている他国の留学生も多くいます。International House と同じくらいの金額でセキュリティ良・プール・ジム付きというマンションもあり、1 年以上留学でそちらに引っ越している学生もいます。ただ、スクールバスが通っておらず、シティバスも時刻表がなく 30 分以上待つのは日常茶飯事なので、大学までのアクセスはあまりよくないです。

| 3. 留学先でのオリエンテーションについて | |
|--|--|
| オリエンテーションの有無 | ✓ <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった |
| 日程 | 8月28日 |
| 参加必須ですか？ | ✓ <input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加 |
| 参加費用は？ | ✓ <input type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:) |
| 内容と様子は？ | <p>初日に入学式と大学についての説明、今後必要になるシステムの利用手続き。次の日からは様々な交流イベントが1週間続きました。</p> <p>マレーシアでの生活、Student Visaの申請方法、保険、ポータルサイトの使い方など、重要な情報がオリエンテーションで説明されるのですが、レジュメが配られないのでスクリーンに映される情報を必死になって写真に撮っていました。</p> |
| 留学生用特別ガイド | ✓ <input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった |
| 授業開始日 | 9月10日から |
| IV. その他、渡航してから必要な手続きについて | |
| 1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？ | |
| <p>Student visaの申請は現地でした。申請書はオリエンテーションでバディと一緒に書きましたが、そこから今自分がどんな進捗状況にいるのかもわからずの状態です。いろいろな手続きをすることになったので、現地の日本人学生同士で情報を共有しながら行いました。</p> <p>パスポートをマラヤ大学のVISAカウンターを通してEMGSに提出するのですが、返却まで1か月半近くかかりました。その間は国外はおろか国内線の飛行機にも乗れないので不便でした。</p> | |
| 2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？ | |
| <p>Visaの健康診断は明治の診療室から発行される証明書で免除になったのですが、マラヤ大学の入学時健康診断は免除にならず、指定されたクリニックに行き受診しました。滞在開始から7日間以内に受けなければいけなかったのですが、開院と同時に待っても2時間待ち、30分後に行った私は5~6項目で6時間待ちました。セクハラも横行していたので、無料だからといって大学指定のクリニックを安易に選んでは欲しくありません。</p> <p>マラヤ大学の保険もこちらに来てから「加入必須」と言われ、日本の保険と被ってしまいました。</p> | |
| 3. 現地で銀行口座を開きましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？ | |
| <p>私は半期なので開設していませんが、1年間の友人は開設していました。</p> <p>Student visaが取得できてからになるので10月中旬以降になります。必要書類は大学の留学生センターから出される開設依頼書などです。</p> | |
| 4. 現地で携帯電話を購入しましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？ | |
| していません。 | |

V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に(月 日頃)
 オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他

到着後に(月 日頃)
 オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他

登録時に留学生として優先されることは あった なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

オンライン入学申請時(一番最初)に興味のある授業を10個以内で選び、オファーレターに抽選に当たった授業(6科目以下)が記載されます。渡航後の履修登録期間に担当教授と学科のオフィスからスタンプをもらいます。その書類はISC(International students center)に提出に行きます。マレー語はISCの窓口受付でした。

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

渡航前に抽選はありますが、あつてないようなもので、自分が外れた科目でも履修登録機関に登録すれば申請できます。抽選に当たった科目でも渡航後の履修登録機関に履修を取り消すこともできます。ただ、渡航前のオンライン登録を5科目程度にしてしまうと、抽選に当たるのが2科目程度になってしまうことがあり、定員でとれない授業ばかりに当たってしまうと結局2科目しかとれない、ということにもなり得ます。渡航後に手に入る履修可能科目リストに載っていない科目で、学科オフィスに確認したら履修不可といわれても、教授に確認したら履修可能ということもありました。

私は運よく取りたい授業をすべて取ることができました。履修可能単位は最大20単位で、基本的に1科目3単位です。私は取れるだけ取っています(6科目18単位)。予習復習の時間がかかなり必要で大変ですが、やっとやりたい勉強ができていたので頑張れます。4科目程度を履修している学生が一番多いです。

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-------|-------|-------|--------------|-------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 7:00 | | 起床 | | | 勉強 外出 部屋の片づけ | 勉強 外出 部屋の片づけ | 勉強 外出 部屋の片づけ |
| 8:00 | | 登校 | | | | | |
| 9:00 | 起床 | 授業 | 起床 | 授業 | | | |
| 10:00 | 登校 | 授業 | 部屋の片づけ 登校 | 授業 | | | |
| 11:00 | 授業 | 授業 | 授業 | 授業 | | | |
| 12:00 | 授業 | 昼食 | 授業 | 昼食 | | | |
| 13:00 | 授業 | 予習復習 | 昼食 | 予習復習 | | | |
| 14:00 | 昼食 | 予習復習 | 予習復習 | 予習復習 | | | |
| 15:00 | 予習復習 | 予習復習 | 予習復習 | 予習復習 | | | |
| 16:00 | 授業 | 授業 | 予習復習 | 授業 | | | |
| 17:00 | 授業 | 買い物 | 授業 | 帰宅 夕食 | | | |
| 18:00 | 授業 | | 帰宅 夕食 | | | | |
| 19:00 | 帰宅 夕食 | | | | | | |
| 20:00 | | 帰宅 夕食 | | | | | |
| 21:00 | | | | | | | |
| 22:00 | | | | | | | |
| 23:00 | | | | | | | |
| 24:00 | 就寝 | 就寝 | 就寝 | 就寝 | | | |

Ⅶ. 現在までの感想 留学先大学、プログラムについて、授業、宿舍、生活全般についてなど、自由に書いてください。

マレーシアでは義務教育期間から一部の授業が英語で行われ、生徒は数学も英語で勉強してきました。そのため、街中でも大抵の人が英語を話せます。地方に行くと話せない人が増えるようですが、クアラルンプール、特にマラヤ大学は英語の能力を上げるという目的でも留学先として選ぶことができる場所です。3種類の民族が共生している社会で初めは驚くばかりでしたが、肌の色や宗教が「ウチとソト」の境界として使われがちな日本と違って、生活するだけで自分の宗教観や価値観が変わっていているのを感じています。東南アジアといっても国ごとにそれぞれ発展度が違い、マレーシアは遠くない将来に先進国入りすると言われていています。東南アジアを比較研究するという点においてはクアラルンプールはとても交通の便が良く、留学期間中の週末にでも安価に近隣の国を訪れることができます。特に、関わる人が多い一方であまり歴史的に理解を深める機会のなかった中華系について学ぶことができ、とても良い機会と感じています。「東南アジアを学ぶ」という軸を留学当初から立てていたことで、科目を横断して広く深く学べていると実感しています。

マラヤ大学は、キャンパスがとても大きく学部もたくさんあります。成績基準はありますが、交換留学生であれば基本的にどの学部の授業も履修できます。私は東南アジア関係の授業を履修していますが、ジェンダーや国際関係学などさまざまな授業があります。留学生の比率はキャンパス全体の10%と決まっており、今期は約500名います。中華系が一番多いですが、ドイツやベルギーなどヨーロッパの学生も多く留学しています。日本人も50人弱いますが、学生の母数が多いので日本人ばかりのクラスはありません。イスラム教の国なので年末年始の休みはなく、科目によっては12月31日でも期末テストがあります。科目は週2コマの講義と週1コマのチュートリアルで構成されています。(1コマ50分)チュートリアルでは授業で取り扱ったテーマを発展させて、プレゼンテーションやディスカッションを行います。ディスカッションで回りの学生がどんどん発言している中、意見はあるのにしり込みして話に入っていけずに悔しい思いをすることもあります。留学期間が半年しかないことが寂しくて仕方ありません。まだまだ学びたいことがあるのに半年は短すぎます。

尋ねる人によって言っていることが違うということが多々あり、一人に聞いた情報を鵜呑みにするのではなく、2人、3人と何回も確認する必要があります。その結果、情報が錯そうしているためとりえず向かってみる、というのが日常です。道を聞くにしろ、大学の手続きをするにしろ、かなり足で情報を稼いでいるところがあります。早め早めの行動を心掛けるようになりました。重要な事務手続きやトラブル情報に関しては日本人学生で連絡を取り合っています。

食中毒は誰も通る道のように。おなかを下すだけで済めばいいですが、熱がでて一週間動けないという人もいます。体調を崩した時は我慢せずに早めに病院に行き、無理をせずしっかり休まないと、風邪でさえ拗らせると学びました。海外旅行保険は明治で全員加入してから渡航するので、大いに活用しています。ただ、東京海上日動は病院の予約までしてくれるわけではないので、日系の病院を利用すると話が早いです。きちんと検査を受けようと思ってマレーシアの総合病院に連絡したところ、紹介状がないと受診を渋られたり、日本語の話せるお医者さんはいるかと聞いたら「確認して後でかけなおす」と言われ、そのまま連絡が来なかったりしました。日本食は大きいモールのスーパーや日本食小売店であれば納豆まで売っていますが、割高です。ダイソーやイオンなどもありますが日系はどこも高めなので、渡航直後でどんなお店にどんなものがあるかわからないときによく行っていました。驚いたのは、フリーズドライや粉末のスープがめったに売っていないことです。マレーシアは大家族が多く、大衆食堂の食事も安いので、小分けの粉末スープを日常的に利用しようとするとう割高になってしまうのだと思いますが、一人暮らしをする私としては、日本のフリーズドライ技術は本当にレベルが高いのだと再実感しました。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

今後留学を考える学生方には、手続き関係には十分な余裕をもって準備していただきたいです。調べてもわからないことがあればすぐに誰かに相談したり、機関にメールを送って質問をしてください。特に東南アジアは予定が確定し、こちら側に周知されるのが大抵の場合直前です。その一方、申請は数か月前にしていけないいつの間にかいっぱいになってしまっており、「知らされてなかった」と言っても取り合ってくれないことが多々あります。メールも一か月先の返信ということもよくあり、「後でやる」「折り返し連絡する」と言われた場合の放置率は驚異的です。大学から送付された重要書類の内容が間違っていたということもあります。自分のことだからすべて自分で責任をもって行う、くらの心づもりで準備をしてください。留学前中の事務手続きはかなりの負担だと思います。しかし、そこで苦労した経験、そこで覚えた英単語は後々役に立ってきます。

トラブルばかりを記述してしまっているのが暗い内容の報告書になってしまいましたが、意外と何とかしようとするとかんがえることでもあります。日本ではありえないようなトラブルがあっても「Welcome to Malaysia!」と友人と笑えるようになりました。やと勉強したいことができているし、たくさん英語は話せるし、がんばりたいと思ったことを頑張れる場所に来ることができて幸せです。しっかり成績を取っていれば奨学金は十分な額取得でき、金銭面では心配することなく留学することが可能です。もし留学を迷っている方がこの報告書を読んでいらっしやれば、前向きに留学を考えてほしいです。日本で考えている以上に留学で学ぶことはたくさんあります。